

平成 28 年 5 月

第 3 回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果概要

「第 3 回鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

概 況	
業 況 D I	<p>○今期は▲6(良い<悪い)と、前期(▲8)と<u>ほぼ横ばい</u>となった。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、農水産業は横ばい。製造業はやや悪化。建設業と卸売・小売業、その他は改善しており、特に建設業は▲21 と依然マイナス圏ながら前期(▲41)より大きく改善した。 <p>○来期は▲16(良い<悪い)と、悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、農水産業と卸売・小売業は改善し、建設業と製造業、その他は悪化。特に建設業は▲47 と、厳しい見通し。
売上・完工高 DI	<p>○今期は▲5(増加<減少)と、前期(▲7)と<u>ほぼ横ばい</u>となった。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、農水産業は悪化。卸売・小売業はほぼ横ばい。建設業と製造業、その他は改善した。 <p>○来期は▲18(増加<減少)と、悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、農水産業は改善するものの、それ以外は全てマイナス圏となっており、特にその他は▲5 と今期(18)から悪化しマイナスに転じる見通し。
製(商)品販売単価 DI	<p>○今期は▲5(上昇<低下)と、前期(▲2)より<u>やや低下</u>した。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、その他は▲7 と、前期(19)より多く減少しマイナスに転じた。 <p>○来期は▲10(上昇<低下)と、更に低下する見通し。</p>
原材料仕入単価 DI	<p>○今期は 19(上昇>低下)と、前期(30)より<u>低下</u>した。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、建設業で製(商)品販売単価 DI が▲33 に対し、原材料仕入単価 DI が 37 と、厳しい状況。 <p>○来期は 15(上昇>低下)と、やや低下する見通し。</p>
雇用人員 DI	<p>○今期は▲35(過剰<不足)と、<u>全ての業種でマイナス</u>となった。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、建設業と製造業、卸売・小売業は依然マイナス圏ながらも、やや回復。農水産業とその他は悪化した。 <p>○来期は▲36(過剰<不足)と、<u>ほぼ横ばい</u>で推移する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、卸売・小売業は▲53 と今期(▲29)より大きく悪化し、人手不足が深刻化する見通し。
損 益 D I	<p>○今期は▲10(好転<悪化)と、前期(▲9)と<u>ほぼ横ばい</u>となった。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、農水産業が▲9 と前期(13)より大きく悪化しマイナスに転じた。一方、その他は 14 と、前期(▲10)から大きく改善した。 <p>○来期は▲14(好転<悪化)と、やや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業種別では、卸売・小売業が 21 と今期(0)より改善するものの、それ以外はマイナス圏に留まっており、依然として厳しい状況が続く見通し。

※ 上記は、主な DI 値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果」を御覧ください。

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 176 先

（ 農水産業 42 先、建設業 20 先、製造業 62 先、卸売・小売業 20 先
その他(不動産業、運輸業、宿泊業、飲食業)32 先 ）

回答数：137 件 回答率：77.8%

2 調査時期： 平成 28 年 4 月

3 対象期間： 平成 28 年 1～3 月期実績(今期)、平成 28 年 4～6 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D I 値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D I 値は「▲40」となります。「D I」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第3回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

(単位：%)

四半期別 状況 項目	平成27年10~12月 前期				平成28年1~3月 今期					平成28年4~6月 来期見通し			
	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	前 回 調査 時 今 期 見 通 し	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI
	(A)	(B)	(C)	(A-C)	(A)	(B)	(C)	(A-C)		(A)	(B)	(C)	(A-C)
自社の業況(景況感)	18	55	27	▲ 8	18	59	24	↑ ▲ 6	▲ 12	10	63	27	↓ ▲ 16
農水産業	26	52	22	4	9	87	4	- 4	3	14	82	5	↑ 9
建設業	6	47	47	▲ 41	16	47	37	↑ ▲ 21	▲ 9	5	42	53	↓ ▲ 47
製造業	18	53	29	▲ 11	20	47	33	↓ ▲ 13	▲ 7	8	60	33	↓ ▲ 25
卸売・小売業	14	64	21	▲ 7	19	56	25	↑ ▲ 6	▲ 1	20	60	20	↑ 0
その他	24	62	14	10	22	70	9	↑ 13	2	10	75	15	↓ ▲ 5
生産高(製造業)	20	48	31	▲ 11	25	43	32	↑ ▲ 8	▲ 6	16	50	34	↓ ▲ 18
売上・完工高	27	39	34	▲ 7	27	40	33	↑ ▲ 5	▲ 4	13	57	31	↓ ▲ 18
農水産業	36	41	23	14	22	52	26	↓ ▲ 4	4	18	68	14	↑ 5
建設業	12	29	59	▲ 47	11	47	42	↑ ▲ 32	▲ 6	0	53	47	↓ ▲ 47
製造業	25	36	39	▲ 14	31	28	41	↑ ▲ 9	▲ 6	10	55	35	↓ ▲ 25
卸売・小売業	29	50	21	7	29	47	24	↓ 6	0	20	53	27	↓ ▲ 7
その他	33	48	19	14	36	45	18	↑ 18	4	20	55	25	↓ ▲ 5
製品・商品在庫 (適正水準比)	多い	妥当	少ない		多い	妥当	少ない						
農水産業	14	71	14	0	12	53	35	↓ ▲ 24					
建設業	0	64	36	▲ 36	0	63	38	↓ ▲ 38					
製造業	15	75	9	6	8	79	13	↓ ▲ 6					
卸売・小売業	21	79	0	21	19	81	0	↓ 19					
その他	14	79	7	7	8	83	8	↓ 0					
製(商)品販売単価	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下			上昇	横ばい	低下	
	16	66	18	▲ 2	13	69	18	↓ ▲ 5	▲ 7	10	70	20	↓ ▲ 10
農水産業	30	60	10	20	30	55	15	↓ 15	0	26	58	16	↓ 11
建設業	6	59	35	▲ 29	11	44	44	↓ ▲ 33	▲ 4	11	39	50	↓ ▲ 39
製造業	7	80	13	▲ 5	12	75	13	↑ ▲ 2	▲ 4	6	78	16	↓ ▲ 10
卸売・小売業	23	38	38	▲ 15	13	69	19	↑ ▲ 6	▲ 2	7	80	13	↓ ▲ 7
その他	31	56	13	19	0	93	7	↓ ▲ 7	3	8	85	8	↑ 0
原材料仕入単価	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下			上昇	横ばい	低下	
	34	61	4	30	26	66	7	↓ 19	29	24	66	9	↓ 15
農水産業	45	45	9	36	32	55	14	↓ 18	5	24	62	14	↓ 10
建設業	29	71	0	29	42	53	5	↑ 37	6	42	53	5	- 37
製造業	29	67	4	25	13	83	4	↓ 10	10	16	76	8	↓ 8
卸売・小売業	46	54	0	46	44	56	0	↓ 44	6	33	67	0	↓ 33
その他	31	63	6	25	25	56	19	↓ 6	2	21	57	21	↓ 0
資金繰り	楽	普通	苦しい		楽	普通	苦しい			楽	普通	苦しい	
	5	77	18	▲ 13	7	72	21	↓ ▲ 15	▲ 12	4	72	24	↓ ▲ 20
農水産業	5	77	18	▲ 14	0	73	27	↓ ▲ 27	▲ 2	0	75	25	↑ ▲ 25
建設業	0	65	35	▲ 35	5	63	32	↑ ▲ 26	▲ 6	0	63	37	↓ ▲ 37
製造業	2	85	13	▲ 11	6	74	20	↓ ▲ 15	▲ 5	2	77	21	↓ ▲ 19
卸売・小売業	17	75	8	8	12	71	18	↓ ▲ 6	1	13	67	20	↓ ▲ 7
その他	10	67	24	▲ 14	13	74	13	↑ 0	0	10	70	20	↓ ▲ 10
雇用人員	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足			過剰	適正	不足	
	4	55	41	▲ 37	5	55	40	↑ ▲ 35	▲ 38	6	52	42	↓ ▲ 36
農水産業	0	68	32	▲ 32	5	50	45	↓ ▲ 41	▲ 5	5	48	48	↓ ▲ 43
建設業	6	41	53	▲ 47	5	47	47	↑ ▲ 42	▲ 5	11	42	47	↑ ▲ 37
製造業	4	55	41	▲ 38	7	60	33	↑ ▲ 25	▲ 16	10	60	31	↑ ▲ 21
卸売・小売業	8	46	46	▲ 38	6	59	35	↑ ▲ 29	▲ 6	0	47	53	↓ ▲ 53
その他	5	57	38	▲ 33	0	50	50	↓ ▲ 50	▲ 6	0	47	53	↓ ▲ 53
損益	好転	横ばい	悪化		好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化	
	18	54	28	▲ 9	17	56	27	↓ ▲ 10	▲ 13	13	61	26	↓ ▲ 14
農水産業	30	52	17	13	9	73	18	↓ ▲ 9	1	10	76	14	↑ ▲ 5
建設業	6	53	41	▲ 35	11	42	47	↓ ▲ 37	▲ 6	5	63	32	↑ ▲ 26
製造業	16	55	29	▲ 13	16	55	29	- ▲ 13	▲ 8	13	52	35	↓ ▲ 21
卸売・小売業	23	54	23	0	25	50	25	- 0	0	29	64	7	↑ 21
その他	19	52	29	▲ 10	27	59	14	↑ 14	0	11	63	26	↓ ▲ 16

注) 四捨五入の関係上、D I 値 (A-C) は一致しない場合がある。